

東京新聞

●中日新聞東京本社
東京都千代田区内幸町二丁目1番4号
〒100-8505 電話 03(6910)2211



銀座本店六丁目並木通り
登録商標

紙面について

●電話
03-6910-2201
(土日祝日除く)
9:30~17:30
●FAX
03-3595-6935
東京新聞ホームページ

TOKYO Web
www.tokyo-np.co.jp

本紙記者が
ツイッターで
つぶやいています

東京新聞政治部
東京新聞けいざいデスク
東京新聞写真部
東京新聞鉄道クラブ
東京新聞文化部
東京ちゅん太(生活部)
東京レター(外報部)
東京エンタメ(放送芸能部)
チョウカンヌ(次世代研究所)

新国立財源を終始軽視

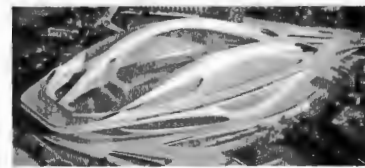
二〇一〇年東京五輪・パラリンピックの主会場となる新国立競技場の建設計画をめぐり、文部科学省が当初、財源のめどが立たないため旧国立競技場の改修も検討すると表向き説明しながら、実際には建て替えに絞って計画を進めていった実態が、本紙が独自に行った検証で明らかになった。

(新国立競技場取材班) ●関連②④面

派議員が、国立の収容人数を約五万四千人から八万人規模に増やすよう決議。六年五輪の招致競争に敗れた東京都が二〇年に向けて再挑戦することも決まり、建て替えるとすれば時間が限られていた。

財務省は、財源のめどが立たないことから建て替えに難色を示していた。しかし、文科省の一部関係者たちは、ラグビーW杯や東京五輪の主会場とするために新国立競技場を建てるなら、早期着工が必要との考えを固めた。

特集「Q&Aで検証」14⑩面



- ▶改修案なぜ消えた?
- ▶JSCって何?
- ▶なぜ豪華施設に?
- ▶なぜハデイド氏案に?
- ▶計画作りオープンだった?
- ▶工費なぜ乱高下?
- ▶外部の警告なぜ届かなかった?
- ▶白紙撤回どう決まった?
- ▶税金いくら無駄に?
- ▶反省は生かされたのか?

段階ではなかった」と証言。その後、表向きは改修も含めて検討するとして、実際には建て替えを前提に計画作りを進めた。

「(その事実を)誰も明言できなかった」という。JSCが設置した有識者会議の議事録を見て、改修は検討されていなかった。

当初の段階で川原1足を公表し、それでも建て替えるかどうか国民的議論をしていたら、建替は避けられた可能性は否定できない。

「改修」言いつつ「建て替え」推進

計画迷走 本紙が独自検証

新国立競技場をめぐっては、政府が発表した新たな整備計画でも、上限千五百五十億円の工費の財源が決まっていない。財源の見直しもなく計画を進める構図は今回も同じだ。

政府の第三者委員会は、白紙撤回された建設計画について、今月半ばにも検証結果をまとめる。

関係者によると、国立競技場を管理運営する独立行政法人・日本スポーツ振興センター(JSC)が二〇一〇年八月〜一一年三月、大手設計会社に委託して、老朽化が進んでいた旧国立の大規模改修を検討。機能性や利便性を向上させるには、改修では限界があるという意見が強まった。

同じころ、一九年ラグビー・ワールドカップ(W杯)日本大会に向けて超

高層ビル内に小学校

東京都中央区立城東小学校が入居する高層ビルの完成イメージ=内閣府のホームページから



東京都中央区八重洲二のJ R東京駅前に建設される高層オフィスビルに、区立城東小(児童数約百人)が入居する。区などによると、高層オフィスビルへの公立小学校の入居は全国で初めて。二〇二一年四月に完成予定で、この計画は三日の東京圏国家戦略特別区域会議で認定された。ビルは高さ二百四十五階、四十五階、地下四階延べ二十八万平方メートル。小学校は低層階に入り、低層部の屋上をグラウンドとして活用する。城東小は高層ビルを含む八重洲二の再開発事業敷地(一万五千平方メートル)にあり、区が地権者として再開発事業に参加する。

JR東京駅前21年にも

ビルにはほかに事務所や店舗、ホテル、ビジネス交流施設、駅周辺のバス停を集約した地下バスターミナル、非常用発電施設が入る。再開発事業は中小ビルが林立する八重洲地区を、特区プロジェクトとしてバスターミナルやビジネス拠点を備えたビルを建てることで、国際競争力や防災力、交通の利便性を高める狙い。

八重洲通りを挟んだ北側の敷地でもほぼ同時期に五十四階建て(二百五十メートル)のビルが建設される。

城東小の現校舎は、関東大震災後の一九一九年に造られた復興小学校の一つで、歴史的価値から取り壊しに反対する意見がある。「子どもをビル内に閉じ込めていいのか」と、教育環境を懸念する声も上がる。

(松村裕子)